

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 年 月 日

計画の名称	安全安心に使用し続ける岸壁の老朽化対策（重点）（防災・安全）																										
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）				交付対象	山形県																					
計画の目標	岸壁や護岸等の老朽化に伴い上部工に陥没が起き、使用制限を余儀なくされていることから、使用制限につながる可能性が非常に高い、あるいは使用制限中の港湾施設を早期に機能回復し、利用者が安全安心に使用し続けることができるよう重点的に対策工事を実施するとともに、老朽化した保安装置の更新によりふ頭内の保安体制を維持する。																										
計画の成果目標（定量的指標）	使用制限につながる可能性が非常に高い岸壁において、老朽化対策を実施し、対象岸壁全体延長のすべての老朽化対策を完了させる。																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H30当初)</th> <th>(R2末)</th> <th>(R4末)</th> </tr> <tr> <td>対象岸壁全体延長のうち、老朽化対策完了した岸壁の延長の割合を改良率とする。 (改良率) = (老朽化対策完了した岸壁の延長) / (対象岸壁全体延長) (%)</td> <td>26%</td> <td>50%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H30当初)	(R2末)	(R4末)	対象岸壁全体延長のうち、老朽化対策完了した岸壁の延長の割合を改良率とする。 (改良率) = (老朽化対策完了した岸壁の延長) / (対象岸壁全体延長) (%)	26%	50%	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																								
	(H30当初)	(R2末)	(R4末)																								
対象岸壁全体延長のうち、老朽化対策完了した岸壁の延長の割合を改良率とする。 (改良率) = (老朽化対策完了した岸壁の延長) / (対象岸壁全体延長) (%)	26%	50%	100%																								
全体事業費	合計(A+B+C+D)	870百万円	A	870百万円	B	百万円	C	百万円	そのほか関連する事業(D)	百万円																	

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う	整備計画期間の翌年度
	公表の方法
	ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H30	H31	R2	R3	R4		
A02-001	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	水産第2岸壁（-4.5m）改良	被覆防食 L=35m	酒田港・本港地区	■					45	
A02-002	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	古湊護岸ほか	護岸補修 L=375.5m	酒田港・北港地区	■		■	■		150	
A02-003	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	新井田川右岸（-2.0m）物揚場	エプロン補修 L=14m	酒田港・本港地区			■	■		10	
A02-004	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	高砂取付護岸改良	被覆防食 L=113m、エプロン補修 L=113m	酒田港・外港地区		■	■			104	
A02-005	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	防波堤（南）改良	防波堤改良 L=58m	酒田港・本港地区			■			34	
A02-006	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	高砂第2岸壁（改良）等	SOLAS監視装置改良	酒田港・外港地区ほか			■			51	
A02-007	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	石油基地航路護岸改良	被覆防食 L=285m	酒田港・本港地区							
A02-008	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	宮海第5号岸壁改良	被覆防食 L=150m	酒田港・北港地区							
A02-009	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	水産第2岸壁補修	被覆防食 L=180m	酒田港・本港地区							
A02-010	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	-	水産第1岸壁、西ふ頭岸壁、大浜ふ頭岸壁 防眩材取替	防眩材取替	酒田港・本港地区ほか							
合計															394		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H30	H31	R2	R3	R4			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H30	H31	R2	R3	R4			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H30	H31	R2	R3	R4			
合計																	

A'	百万円	B'		C'		(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))
----	-----	----	--	----	--	-------------------------------------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

老朽化が進んだ港湾施設について、補修工事が進捗し安全性が向上した。

II 定量的指標の達成状況

指標①

最終目標値

100%

目標値と実績値  
に差が出た要因

当初予定していた予算が全額確保できなかったものの、使用制限を行っていた港湾施設の一部を開放することができ、改良率も向上した。

最終実績値

85%

指標②

最終目標値

目標値と実績値  
に差が出た要因

最終実績値

3. 特記事項（今後の方針等）

残箇所は、補助事業にて継続して対策工事を実施する。  
老朽化対策については、引き続き計画的に進め港湾施設の安全性の確保に努めていきたい。